

団体名		公益財団法人 武蔵野健康づくり事業団						
①	指 標 名	健康づくり講座の実施回数			目 標 値	120回	実 績 値	101回
	過 去 の 実 績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	84.2%	達 成 状 況	未達成
	(単位: 回)	39	70	170				
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① コミュニティ協議会や集合住宅自治会等との連携・協力をさらに進め、連携・共催講座を28回実施。他団体との協力講座を5回実施した。 ② 市民グループ等に対する健康づくり出前講座を41回、はつらつメンバーに対する講座を6回、市内イベントでの講座を14回、だんだん活力アップ体操講座を6回(健康づくり出前講座等を除く)実施した。 ③ 平成27年度に立ち上げた健康づくり自主活動グループの継続的な活動の支援(課題整理・検証のため講座回数に含めず)を行うとともに、新たに吉祥寺西コミュニティ協議会との連携により「日曜ヨーガ」の自主活動グループ立ち上げ支援事業を1回実施した。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 共催事業は活発に開催できたが、健康づくり出前講座は申込団体の減等により前年度の件数を下回り、全体で目標を達成できなかった。今後、共催事業は「運動・講座による啓発」及び「自主化を目指した運動の継続支援」とに目的を明確化しながら、地域団体等と連携して更に取組みを拡大、充実させていく。出前講座は、新規団体のPRに力を入れていく。自主活動グループ立ち上げ支援では、28年度中に1団体立ち上げに至った。						
二 次 評 価	地域との共催事業により、自主グループが立ち上がったことを評価する。前年度を下回った健康づくり出前講座については、市民等が健康づくりに触れる機会を設け、行動変容を促すためさらなる取組みを推進していただきたい。							
②	指 標 名	健診事業収益			目 標 値	60,000千円	実 績 値	58,500千円
	過 去 の 実 績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	97.5%	達 成 状 況	未達成
	(単位: 千円)	58,506	57,767	59,166				
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 人間ドック受診者増を目指し、市報、ホームページ、広報誌の全戸配布、各種事業での健康づくり推進によるPR等積極的に取り組んだ。 ② はつらつメンバーのポイントに「人間ドック、健康診断の受診」の項目を入れる等、健診のPRに努めた。 ③ 健診事業代行事業者との契約を継続して行った。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 職域検診の受診者数は98人増加したものの、人間ドック受診者数は、健診実施回数が年間2日減ったことも一因となり、37人減少した。一日あたりの受診者数平均では14.66人で、前年の14.74人に比べ若干減少した。健診事業収入は、全体で前年比666千円の減となり、目標は達成できなかった。今後も引き続き、収支改善を図るため、人間ドック等自主事業による財源を最大限確保するよう、受診勧奨・周知に努めていく。						
二 次 評 価	健診事業収入が昨年度から下回っている。人間ドックについて、受診者のニーズを把握するとともに、オプション検査項目の充実を図るなど、引き続き受診者の増加に努めていただきたい。							
③	指 標 名	研修への参加者の割合			目 標 値	100%	実 績 値	100%
	過 去 の 実 績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	100%	達 成 状 況	達成
	(単位: %)	100	100	95.7				
	取 組 内 容	① 嘱託職員を含む各職員が、積極的、自発的に研修参加を希望するよう促し、各種研修・講座に参加した。人間ドックアドバイザーブラッシュ研修やピンクリボンアドバイザー認定等、健診施設の機能を高める研修の参加を促した。 ② 計画的に進めている上級救命講習は、新規委嘱の健康づくり推進員の受講や更新のための再講習を必要な職員へ受講させた。 ③ 研修以外にも、市の在宅医療・介護連携推進協議会、介護予防事業連絡調整会議、子育てひろばネットワーク会議、ケアリンク武蔵野2016実行委員会等、市の各種会議や関連団体との合同研修、事業団理事長ミーティング等へ積極的に参加した。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 引き続き、事業団職員としての意識・意欲の向上、専門・担当業務のスキル向上に資するよう、業務に関連した研修や専門性を高める研修をはじめ、組織目標を達成していく上で有用な研修に積極的に参加するよう努め、人材を育成する。各職員が研修・講座・委員会等へ参加して得られた情報は、職場全体で共有し、組織力を高めていく。						
二 次 評 価	高い意識で研修に参加していることを評価する。個々の意識・意欲・スキル向上は、組織力向上につながるため、引き続き積極的な取組みを継続していただきたい。							